

# 平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	防災安全課					
基本構想	交通環境と防災対策の向上		重点的方針	1. 「二宮の顔づくり」= 駅北口整備				
分野別方針	(1) 中心市街地等の整備誘導		実施計画事業	1) 駅周辺整備計画事業 (No.63)				
予算等事業名	自転車等対策事業							
目的	二宮駅を中心とした周辺の整備を図り、町の玄関として町民の誰もが誇りに思える駅前空間を実現するため、安全で快適な交通の確保のための計画策定をする。							
内容	自転車駐車場の整備をはじめ施設の運営管理を充実するとともに放置自転車及び原付バイクの解消に努める。							
根拠法令・条例等	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 二宮町自転車駐車場条例、二宮町自転車等の放置防止に関する条例							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 削減は困難			
理由								

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難			
理由								

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)						
	【説明】						

## 総合評価

実績	・駅周辺の臨時自転車駐輪場3か所を有料化 ・自転車駐輪台数: 106,968台(北口: 44,561台、南口: 38,115台、臨時: 4,567台)、バイク駐車台数: 19,725台						
中間評価との相違点	—						
事業指標(数値指標)	駐輪場利用台数						
前期(27年度)目標値	92,000台			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】			
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	過去の駐車台数から、放置自転車が無く安全な状態で管理できると考える92,000台の利用延べ台数			
	106,968台						

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		27,346	27,103				
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	27,346	27,103				

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 駅前環境の整備及び放置自転車対策として、町が主体的に実施していく必要がある。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 駅前環境の整備及び放置自転車対策として、町が主体的に実施していく必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	A
	【説明】 各自転車駐車場とも均衡が取れ、良好な駐輪環境が保たれている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 使用料収入のみで施設運営ができています。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 臨時自転車置場の有料化及び台数制限の導入に伴い、従来の乱雑的な駐輪状態が解消され、整然とした駐輪場機能を維持することが可能となった。加えて、駅南北駐輪場の利用台数も増加し、各々の均衡が保たれるようになった。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	老朽化した駅北口自転車駐車場の改修を計画的に進めて行く必要があるほか、今後、自転車利用者が増加し続けた場合の駐輪台数確保について、検討していく必要がある。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	二宮駅周辺の安全安心のための自転車対策を関係機関と連携し、行政が実施しなければならないため。		
今後の方向性	自転車利用者の状況を把握しながら適切な自転車対策を民間施設の状況を確認しながら推進していく。		